

令和8年度 上尾市立大石南中学校学校経営方針（案）

令和8年4月1日

1 経営方針

生徒一人一人を大切にし、能力や個性を伸ばす教育の推進

- (1) 生徒を学校を中心に据え、生徒が主体的に考え、行動することができる学校づくりを推進する。
- (2) 知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を目指し、生徒一人一人の人生の基礎を培う。
- (3) 学校・家庭・地域が一体（チーム石南）となって、生徒一人一人に「夢」と「向上心」「勇気」を育む教育を推進する。

2 学校教育目標

人生の基礎を培い 夢を語り 向上心と勇気を育てる
－出会い、ふれあい、学びあい－

3 めざす生徒像 「知・徳・体のバランスの取れた生徒」

- 基礎的・基本的な学力を身に付ける生徒（知）
※基礎的・基本的な学力（「学習指導要領」に定められた教育目標・内容）
- 基礎学力が定着している生徒（知）
※基礎学力（将来、生きていくために必須の学力である「読み・書き・計算」の力）
- 自分を大切にし、周りの人を大切にする生徒（徳）
- 自分を律し、主体的に考え、行動する生徒（徳）
- 自分の命や健康を大切にし、規則正しい生活を送れる生徒（体）
- 防災や安全に対する正しい知識や行動がとれる生徒（体）

4 めざす学校像

- 生徒一人一人のよさやがんばりを認め、励まし、支える学校
- 生徒が主体的に考え、行動することができる学校
- 基礎学力を定着させ、基礎的・基本的な学力を身に付けさせる学校
- 教師にとって働きがいがあり、生徒とともに成長する学校
- 保護者や地域から信頼され、絆を深め、誇りに思える学校
- 花や緑に囲まれ、挨拶・返事・感謝の言葉が飛び交う学校

5 めざす教師像

- 生徒のよさやがんばりを引き出す意欲と指導力のある教師
- 生徒の主体性を引き出し、生徒一人一人に寄り添い、導く教師
- 生徒の学力向上のために授業を改善し続ける教師
- 危機管理意識をもち、誠意とスピード感を前面に出し対応する教師
- 組織（チーム石南）を大切に考え、和を尊重する人間性豊かな教師

6 今年度の具体的な取組〔めざす生徒像の具現化へ向けての視点や道筋〕

(1) 基礎学力が定着している生徒を育てるために

○学習規律（授業規律）の定着を図る。

－「石南LIFE」（4 授業中）の浸透－

- ・時間ではじまり時間でおわることの徹底（教師が手本となって）
- ・チャイム前着席の継続
- ・はじめとおわりの挨拶や「はい」という返事の徹底
- ・私語を行わず、先生の話や友だちの意見をしっかり聞く

○繰り返し学習をする場の充実と学習習慣の確立を図る。

- ・提出物の期限を守ることの徹底
- ・朝読書の実施と読書活動の充実
- ・各教科の学び方の提示（学びのススメの作成）
- ・家庭学習の内容の充実と継続させるための工夫
 - ※自主学習ノートの取組み
 - ※自主学習プリントの設置
 - ※学習の目的と勉強方法の提示
 - ※イベントテストの取組み

(2) 基礎的・基本的な学力を身に付ける生徒を育てるために

○生徒一人一人の学力の伸びを把握する。

- ・埼玉県学力・学習状況調査のペーパーテストの経年変化の分析と活用
- ・実力テストの年間2回の実施と活用

○わかったという実感をもたせる授業展開を工夫する。

- ・生徒同士の学び合い活動の実施
- ・特別支援教育の視点を踏まえた個に応じた指導の実施
- ・習熟度別指導、少人数指導、T・Tの効果的な実施
- ・ICT機器（デジタル教科書、タブレット端末等）の活用
- ・教科ルームの積極的活用
- ・教員間の積極的な授業訪問

(3) 自分を大切に、周りの人を大切にする生徒を育てるために

－「石南LIFE」全般の浸透－

生徒指導の合い言葉 「是々非々」「一点突破」

○生徒のよさやがんばりを認める。

- ・全校統一の取組み「五弁の花賞」「賞賛の木」の実施と活用
- ・生徒の活動等の様子を学校だよりやホームページで広報する。

○石南磨心清掃のさらなる推進

- ・生徒の主体的な取組みとしての無言膝つき清掃
- ・清掃長・生徒会を中心とした清掃集会

○「ダメなものはダメ」の徹底を図る。

- ・いじめや暴力は絶対に許さないという組織としての強い姿勢
 - ※「いじめ0宣言」→ 「しない」「させない」「見過ごさない」
- ・一貫性のある指導を行うため、指導の経緯等の共通理解
- ・小学校との情報共有と連携（大石南中学校区小中一貫教育）
 - ※生徒支援委員会によるミニケース会議等の継続的な実施

(4)自分を律し、主体的に考え、行動する生徒を育成するために

生徒指導の合い言葉 「他律から自律へ」

- 生徒会活動、ボランティア活動を活性化する。
 - ・「大石南中学校区スター宣言」に基づいた取組み（小中一貫教育）
 - ・石南磨心清掃の深化、充実（生徒が主体的に取り組む無言膝つき清掃）
 - ・生徒の手による行事づくり（体育祭・合唱祭・校外行事 等）
 - ・地域と連携したボランティアへの積極的な参加
 - ・地域の伝統芸能等を大切に思う気持ちの育成
 - ・家庭での手伝いも積極的に行う
 - ・生徒の意見を尊重した「石南 LIFE」の見直しの継続
- 「道徳」「特別活動」「総合的な学習の時間」等の充実を図る。
 - ・ローテーション道徳実施（担任以外の授業→視野の広がり、客観的評価）
 - ・SDGsの視点を取り入れた「総合的な学習の時間」の計画的実施
 - ・企業との連携の計画的実施
 - ・キャリア教育の充実（将来の目標や夢）
「ここでいい」ではなく「ここがいい」という明確な目標をもった
上級学校選択。ゴールを見据えた逆向き設計の長期的プラン。
積極的な資格取得の推進
 - ・無言集会、チャイム前着席の徹底
 - ・石南Net Rule の取組み、各家庭のネット利用ルールの共有
 - ・専門機関との連携（一秒でも早くプロの手へ）

※「学校は社会の縮図、社会で許されないことは学校でも許されない」ということを生徒や保護者に伝えておき、可能な限り生徒に関わり指導しても、生徒の行為が学校の範疇を超えた場合、迷わず、警察や児相などプロの手に任せます。

(5) 自分の命や健康を大切にし、規則正しい生活が送れる生徒

- 体力と健康意識の向上を図る。
 - ・学校保健委員会の取組みの充実
※むし歯予防の推進（フッ化物洗口の実施）
 - ・心身の不調を気軽に相談できる人間関係の醸成
 - ・自治会長をはじめ民生委員等の地域の力の活用
 - ・専門機関との連携
 - ・命の日の集会等の活用
- 保健体育授業の充実を図る。
 - ・運動好きな生徒を育てる保健体育授業の充実

(6) 防災や安全に対する正しい知識や行動がとれる生徒

- 安全指導の充実を図る。
 - ・災害対応マニュアル等の徹底
 - ・地域と連携した防災教育の充実（小中一貫での実施）
 - ・いざという時、自らの命を守れる行動をとれる、考えさせる避難訓練の実施

- ・防災ずきんの常備と教師用ヘルメット
- ・自転車乗車時のヘルメット着用のさらなる推進

7 教師の指導指針（教師が手本となって教育活動にあたります。）

- 一人一人の生徒を認め、励まし、支え、その力を十分に伸ばします。
- 誰にでも気持ちよい接遇に努めます。
- 毎日の一時間一時間の授業を大切にします。
- 校務を一人称でとらえ、自覚と責任を持ってその遂行にあたります。
- 是々非々で生徒指導にあたります。

〔負担軽減プロジェクト〕

- ・電話対応時間の設定（留守番電話の活用）
- ・水曜日ノー残業デー、ふれあいデー、計画年休、フレックスタイムの実施
- ・出退勤システムの活用
- ・調整時間のとりやすい環境づくり
- ・行事のスリム化、各種取組の簡略化などで時間外在校時間の縮減

〔教職員事故の根絶に向けて〕

- 1 心の健康の保持・増進
- 2 教育の崇高な使命の自覚
- 3 ダメなものはダメの徹底
- 4 風通しのよい職員室環境（相談できる・頼れる・助けあえる関係）